

【表2-4 削りかけ資料：中部】

地域	時期	名称	製作			形状			用途 ほか	表 象 物	文 献	
			材の樹種	伐採時期	製作道具	削り	組合せ	その他				
山梨県												
上九一色村	(字不明)	小	削りかけ	ヌルデ 〈カツの木〉	1・13	――	○	――	――	飾(神棚・蔵の前)	――	1
富士吉田市	上吉田	小	オハナ	ヌルデ 〈カツノキ〉	1・2 〈仕事始〉	――	○	――	――	供(神棚)→供(墓)	――	2
		イナボアワボ・キバナ	○			5本1組	――	供(〈ダンゴバラ〉の木に付けて台所の荒神の所に飾る)	作物	2		
	新屋	小	アワッポ ヒエッポ	ヌルデ 〈カツノキ〉	1・6	鉋	○	ミズキ 〈ミズフサ〉に付ける	――	供(台所の荒神)	作物	2
勝山村	明見向原	小	ジロタロの棒	ニワトコ	除夜の鐘が 鳴った後	――	○	――	――	供(トシガミ7本、イナリ5本、ホトケ・エビズ各3本、カドガミ・アミダ各2本供える)	――	3
山中湖村	平野	小	アワンボ	ニワトコ	〃	――	○	――	――	供(トシガミ7本、イナリ5本、ホトケ・エビズ各3本、カドガミ・アミダ各2本供える)	――	3・4
	長池	小	ジロタロの棒	ニワトコ	〃	――	○	――	――	供(トシガミ7本、イナリ5本、ホトケ・エビズ各3本、カドガミ・アミダ各2本供える)	――	3
大和村	(字不明)	小	ケズリカケ	ヌルデ 〈カツノキ〉	1・2 〈初山〉	――	○	――	――	(詳細不明)	――	5
須玉町	黒森ほか	小	オモノ	ヌルデ 〈カツノキ〉	――	――	○	――	頭部十字	供(神棚・道祖神)／道祖神祭の際、これを撥に太鼓を叩く地域も	――	6
	塩川	小	オデーゴノコ／ オデーゴ	ヌルデ 〈ヌリデ〉	――	――	○	――	――	団子・松と共に田の隅に挿し、松を稲苗に見立てて田植を真似、田の神を拝む→そのまま置き苗代を作った時水口に移す／神棚に上げておく家、〈ドーロク神〉へ供え、後に水口に立てる家も	――	7
武川村	柳沢	小	削り花	〈カシ〉	――	――	○	――	――	供(神棚に2本供える)	花	8
早川町	奈良田	小	ドフーバナ・ ハナ・カキバナ	ヌルデ〈カツ の木〉※・コウ ゾ 〈カゾガラ〉	――	小刀	○	――	――	供(家の中・墓・忠霊塔・ホーカイ様・大黒様等)→20日の風に当てるなど言い、20日の朝おろして燃す／※カツの木は縁起がよいと言われる ※ドフーバナをあげないと一年中頭が痛いと言われた	――	9
			ツブバナ	――	――	――	○	――	――	供(窓に糊でつける)	花	9
			オホンダレ	ヌルデ 〈カツの木〉	――	――	○	夫婦1対	目鼻刻む	供(門松の杭・出入口・大黒様の前に立て20日まで三度の食事を進ぜる)／※頭にハナを立てる	――	9
	下湯島	小	ハナ	〈コメゴメ〉	――	――	○	――	――	供(家の中・墓・大黒様等)→20日の風に当てるなど言い、20日の朝おろして燃す	花	9
身延町	(字不明)	小	削り花	ミズギ 〈みずくさ〉・ ミツマタ・コウ ゾ	――	――	○	――	――	供(神棚・歳神様・墓)→20日の風に当てないうちにさげる	花	10
下部町	(字不明)	小	ケータテゲー	ヌルデ 〈カツノキ〉	――	――	○	2本1組	頭部十字	15日の小豆粥を混ぜ、年占→供(恵比寿様)→苗代の水口に立てる	――	11
	古閑・釜額 ・中之倉・ 丸畑・折八	小	オホンダレ様	ヌルデ 〈カツの木〉	――	――	○	――	目鼻刻む	飾(1m四方に注連縄を張り、門松と共に立てる)→1月31日に米の団子をお供えてから送る〈晦払い〉	人形	11
富沢町	(字不明)	小	ケズリバナ	コウゾ	――	鉋	○	――	――	飾(軒下に挿す)	花	12

表2-4 削りかけ資料：中部1

【地域】	【時期】		【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】
南部町	佐野	小	キバナ・ハナギ	ウツギ<コメギ>・ヌルデ・コウゾ	——	ハナカキナタ(専用)※	○	——	——	飾(11日に作り、<初山(1月4日)>で採ってきた薪2束にキバナを挿す、又神棚・仏壇・荒神棚・屋敷神・神社・道祖神祠・墓に供える)／※11日を<花の年取り>と言う ※削るのは包丁でもいい ※3段か5段に削る	花	13
	成島	小	ハナ・削り花	ヌルデ・ニワトコ	——	ハナカキナタ	○	——	——	供(屋内の神棚・仏壇、屋外の道祖神)	花	13
	上記以外の地域	小	キバナ	ミズキ<ミズクサ>・キブシ・ツバキ・<柳>	——	ハナカキナタ	○	——	——	供(神仏)	花	13

静岡県

浜松市	(各地)	小	大のこ	<松>	—※	—	○	—	文様※	嫁(男児が初嫁の家へ門付け「大の子小の子」と唱える<嫁たたき>)／※生木のまま削る／※燻して文様をつける	—	1
			小の子	イヌビワ	—	—	○	—	文様※		—	
竜洋町	上中島・上新屋	小	大のこ	<松>	—※	—	○	—	文様※	嫁(男児が初嫁の家へ門付け「大の子小の子」と唱える<嫁たたき>)／※生木のまま削る／※燻して文様をつける	—	2
	高木・平間・堀之内	小	大のこ小のこ	<モチの木>	—	ナイフ	○	—	縞文様※	嫁(初嫁の家へ門付け「ダイノコショウノコ」と唱えながら嫁の尻を叩く)／※燻して文様をつける	男根	3
磐田市	見付・中泉	小	ダイノコ	—	—	—	?	—	—	嫁(子供達が新嫁、新婿の家へ門付け「ダイノコショウノコ」と囃す<ダイノコ打ち、ダイノコショウノコ>)／※主に裕福な家の行事	男根	4
豊田町	(字不明)	小	ダイノコ(祝棒)	イヌビワ<モチイノキ>	—	—	○	—	—	嫁(子供が新嫁の家へ門付け「ダイノコショウノコ」と嫁の尻を叩く)	—	5
佐久間町	城西	小	けずり花	<はんじうるし>	1・11<ニューギムカエ>	小刀か鉋	○	<ピンカ>に付ける	—	飾(<ピンカ>の木に付け、家の中に飾る)／※蕾3、中開5、開花7個の花をつけるとも言われる	花	6
水窪町	(字不明)	小	あわぼう	—	—	—	○	2本1組	—	供(門に立てた飾り木<男木>に1組ずつ、薪を積んだもの<木つぶら>に2組ほど供える)／※3方を削る／※2本を葛ツルで結ぶ	—	7
	草木	小	ハナ	<クルミ>	—	—	○	<ツタの木>・樫に付ける	—	飾(土間・ナカノマなど)	花	8
			アーボ	クリ・<勝の木>など	—	—	○	2本1組	—	供(門に立てた飾り木<男木>に吊り下げ、切り口にご飯等を供える。薪を積んだ所に供える家、<ニューギ>と共に家の神に供える家もある)／※3方を削る ※2本を紐で結ぶ	—	8・9
	有本	小	アワボ	—	—	—	○	—	—	供(門に立てた男木に吊り下げる)／※3方を削る	—	10
	峠	小	アワボ	クリ	—	—	○	2本1組	—	供／※3方を削る	—	10
	西浦(新細)	小	ケズリバナ	<クルミ>	—	—	○	<樫>に付ける	—	飾(<樫>の枝に付け、エベス棚に近くに立てる)	花	11
			アワボ	<クルミ>	—	鉋	○	—	頭部刻み	供(ハザ杭のハザガミ様・屋内の神仏)／※3方を削る	—	
	大沢	小	デッチ・アワボ・オオニューギ	<クルミ>・クリ・<カンバ>・<ヤマザクラ>・<ネブノ木>	—	—	○	2本1組	—	1月11日<ハタシメ>:供(畑)→1月15日<モチイ>:(臼・唐臼・道具・カダガミ様・エビス・便所)／※いずれも<ニューギ>(クルミなどの割木に「十二月」と書いたもの)1本にデッチ2本を括りつける	—	11
			ケンズリバナ	<クルミ>	—	—	○	木に付ける	—	飾(<つた>の木に付けて飾る)	花	
	大野	小	アワボ	クリ・ネムノキ	—	—	○	2本1組	—	飾(門口の<オトコギ>に縛り付ける、また小型のアワボと<ニューギ>を2組ずつカマドに供える)／※3方を削る	—	12

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】			
		奥領家	小	アワボウ	〈クルミ〉	—	—	○	ニューギ※に付ける 2本1組	—	供(ニューギ(クルミの割木に「十二月」と書いたもの)に括りつけ、家の内外の神々・蔵・作業場・臼・風呂・道具類・野仏・墓などに供える)	—	13	
本川根町	梅地	小	アーボー※	〈フシの木〉	1・11<倉開き>	—	—	○※	大小あり	—	供(大:2本1組のものを門に、小:屋内外の神々・墓・地藏・便所に供える)→節分に柿や梅の木の所に納める／※造り方によりアーボー、ヘエボーと呼び分ける家もあり／※3方を削る	—	14	
			ハナ			—	—	○	竹に付ける	—	飾(表、神棚)	花	14	
	犬間	小	アーボー※	〈フシの木〉	1・11<倉開き>	—	—	○※	大小あり	—	供(大:2本1組のものを門に、小:屋内外の神々・墓・地藏・便所に供える)→1月20日のエビス講で明きの方に納める／※造り方によりアーボー、ヘエボーと呼び分ける家もあり／※3方を削る	—	14	
			ハナ			—	—	○	竹に付ける	—	飾(表、神棚)	花	14	
藤枝市	蔵田	小	ダイノコ	ヌルデ	—	—	—	○	—	—	成木(ダイノコで「ナルカナラヌカ」と唱えながら柿木を叩く)	—	15	
	滝之谷	小	削り掛け	ウルシ 〈カブレッキ〉	—	—	—	○	—	—	飾(玄関に1本飾る)	—	15	
	上大沢	小	削り掛け・ダイノコ	ヌルデ	—	—	—	○	—	—	飾／成木(削り掛けで「ナルカナラヌカ」と唱えながら柿木を叩く)	—	15	
	中里	小	アーボーギ	—	—	—	—	○	—	—	供	—	15	
静岡市	田代	小	アーボ・ダイノコ(栗穂型)	ヌルデ 〈アーボの木〉	—	—	—	○	2本1組	—	供(大:門口の両側、小:屋内外の主だった所、ご飯を進ぜる)→16日に下げる／※3方を削りかけた棒を竹に挿す	作物	16	
			アーボ・ダイノコ(花型)	ヌルデ 〈アーボの木〉	—	—	—	○	竹に付ける	—	供(エビス・注連縄のある所)→16日に下げる	花		
	小河内	小	アーボ・ダイノコ	ヌルデ	—	—	—	○	—	—	供(門松を取った跡、ご飯を供える)→20日の風に合わないようにといい、19日に下げる	作物	10・16	
	大河内	小	削り花	〈カドガラ〉・ 〈オカド〉	—	—	—	○	—	—	供(12本束ねて神前・門口に)	—	17	
	大河内(平野)	小	ダイノコ	ヌルデ	—	—	—	?	2本1組	目鼻を刻む	供(大:家の出入口・物置・便所の前、小:神棚)	人形	18	
	日向	小	花	〈ダイノコ〉	—	—	—	○	竹に付ける	—	詳細不明	花	18	
	内牧	小	(ダイノコ)	ヌルデ	数日前	—	—	?	2本1組	—	供(門口、ご飯を進ぜる)	—	19・20	
			(花)	〈ダイノコ〉		—	—	○	2本1組	—	供(2本ずつ神様に供える)	花		
	谷沢	小	カタナ	〈ダイノコの 木〉	—	—	—	?	—	—	成木(粥を付け「ダイノコショウノコ…」と言いながら柿木を叩く)	刀	20	
		小	—		—	—	—	?	3本1組	—	供(束ねて門口に)	—		
	松野	小	花	〈ダイノコ〉	—	—	—	○	竹に付ける	—	供→17日に下ろして燃したり氏神に供えたりする	花	20	
	玉川	小	ダイノコ	ヌルデ・ (コウゾ※)	1・11 〈倉開き〉	—	—	—	○	2本1組	目鼻刻む 場合も	供(門口等、ニギリ餅(米粉を練ったもの)を進ぜる)／※普通3方を削るが、細かく巻き上げるものもあり、これにはコウゾを用いる／→成木(ダイノコで「ダイノコショウノコ」と唱えながら柿木を叩く)	—	18・21
			ショウノコ			—	—	—	○	竹に付ける		—	(写真のみ)	
			かざり花	—		—	—	—	—	○		竹に付ける	—	—
	玉川(口仙俣)	小	アーノホ・ヘーノホ	〈ダイノコ〉	—	—	—	—	○	竹に付ける	—	詳細不明	—	18
	横山	小	オカザリ	〈ダイダイの 木・ダイノコ〉	—	—	—	—	○	2本1組	頭部刻み	供(家の内外・氏神・墓地・地の神・井戸・ワサビ田)／※2本をワラで結ぶ／※3方を削る	—	18・21

表2-4 削りかけ資料：中部3

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】		
	清沢	小	ダイノコ	ヌルデ	——	——	○	2本1組	——	供(門口、ニギリ餅(米粉を練ったもの)を進げる)／※3方を削る	—	21	
			花	〈コメゴメ〉	——	——	○	竹に付ける	——	飾／※〈花削り〉という	花	18	
	清沢 (黒俣)	小	アワボさん	クリ	——	——	○	2本1組 竹に付ける	——	飾(高さ30cm位のもの2本を門口に立てる)	—	18	
	川島	小	ダイノコ	ヌルデ	——	——	○	2本1組	頭部刻み	供(門口に立てる。餅や赤飯を進げる)	—	22・ 23	
	瀬名	小	でやあのこ しょうのこ	ヌルデ〈でや あのこの木〉	1・4(初山)	——	○	——	——	供(門口・神棚等)→成木(神棚に飾っていたものに小豆粥を付け、成木を打つ〈大の子打ち〉)	—	19	
		小	ケズリバナ		1・4(初山)	——	○	竹に付ける	——	飾(神棚・門口)	花	19	
	平山	小	だいのこ しょうのこ	ヌルデ〈でや あのこの木〉	——	——	○	2本1組 大小あり	——	供(大:門口、小:神棚・仏壇など)／※3方を削る	—	19・ 24	
	千代田	小	花	ヌルデ〈ダイノ コの木〉	初山～14日頃	——	○	木に付ける	——	供(サカキと共に神棚に)／※〈花搔〉という	花	25	
			ダイノコ			鉦	○	——	——	供(小:大正月に飾りをした屋内の神仏に供える、中:成木責めをする、大:トマグチ(玄関口)の 両側に立てる)／※3方を削る	—	25	
	内匠	小	ダイノコ	——	——	——	○	2本1組	目鼻を刻む	——	人形	26	
	腰越	小	ダイノコ	——	——	——	○	2本1組	目鼻を刻む	——	人形	26	
	有東木	小※	ダイノコ	ヌルデ 〈アーボ〉	数日前	鉦(常用)	○	2本1組	頭部刻み	供(大:門口、ご飯を進げる)、小:成木(柿の木の数だけ作り、成木責めをして根元においておく)／ ※現在では2月1日に移行	—	27・ 調03	
			ハナ		数日前	小刀(常用)	○	竹に付ける	——	供(屋内外の神々に供える)	花		
	井川	小	アワンボー・ アーツボ	ヌルデ 〈アーボの木〉	——	ケンナタ・ キリガネ	○	竹に付ける	——	供(大:軒に挿す／小:神仏・各部屋・倉・農具などに供える)→20日の風にあわないように19日 番におろし、20日はイロリで焚いて雑煮を作る／※作り方が難しいのでダイノコに代りつつある	—	10・ 28	
			ダイノコ	ヌルデ	——		○	2本1組	頭部刻み	飾(門口、ご飯を進げる)／氏神・墓に供える)→20日の風に当てるなどといって19日中に取り払い、 風呂に焚く	—		
	長熊	小	削り花	——	——	——	○	竹?に付ける	——	供	花	10	
			ハナダイノコ	——	——	——	○	——	——	成木(柿木を叩き、根元に挿しておく)	—	10	
	閑蔵	小	アーボー・ ダイノコ	〈フシの木〉	1・11頃 〈倉開き〉	——	○ ※	大小あり	——	供(大:2本1組のものを門に、小:屋内外の神々、墓、地蔵、便所に供える)→1月20日のエビス 講で明きの方に納める、又エビスさんへのお供えを煮る薪とした／※3方を削る	—	14	
			アワンボー	ヌルデ	——	——	○	竹?に付ける	——	供(軒に挿す)	—	10	
清水市	中河内 (吉原)	小	ハナ	コメゴメ	——	——	○	——	——	供(ツボミ(アーボの新芽を竹につけたもの)と共に、神仏、土蔵、井戸に)	花	26	
		小	ハナ(長)	コメゴメ?	——	——	○	——	——	飾(家の入口)	花		
		小	ダイノコ(粥カ キ棒)	——	——	——	—	粥をつける	——	成木	—		
		小	オニ	ヌルデ 〈アーボ〉	1・10日頃	——	○	2本1組 (男女)	目鼻を刻む	飾(母屋の入口、裏口の両側、小豆粥を進げる)	人形		
	中河内 (小川)	小	ハナ	コメゴメ	——	——	○	——	——	供(神棚、カドガミサンの頭に挿す)	—	26	
		小	ダイノコ	〈アーボ〉	——	——	×	頭部十字・ 粥をつける	——	成木→水口に	—		
		小	カドガミサン	ヌルデ〈アー ボ・カツオギ〉	——	——	○	頭部にハナ を挿す	——	飾(2、3本束ねて門口の両側に、ソバを進げる)	—		

表2-4 削りかけ資料：中部4

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】	
	中河内 (神沢原)	小	ハナ	〈シラツハギ・こめごめの木〉	——	——	○	棒※と共に竹につける	——	供(家の神々)／※棒はアーボの木で作る／3段花を仏様に、1段花を神様に供える家もある	花	26・29
		小	ダイノコ	〈アーボの木〉	1・2<初山>	——	—	2本1組・粥をつける	——	供(神棚)→成木→供(神棚)→水口に	——	
		小	アーボノキ	——	——	——	○	2本1組	——	供(玄関の両側、ソバを進げる)	——	
	土村	小	あーぼうの花	〈あー棒の木〉	——	——	○	——	——	供(荒神様)→成木(家の周りの成木を叩く)→供(荒神様)	——	29
富士川町	(字不明)	小	大のこ	〈アーボーの木〉	1・4<初山>	——	○	——	——	供(荒神様、小豆粥を進げる)→成木(子供達が柿木を叩く)、嫁(新嫁の家を門付け、大のこで嫁の尻を叩く<おかた叩き>)	——	30
		小	小のこ	——		○	——	——	供(神棚・軒先・墓地・井戸・物置等)	——		
	松野	小	花	——	1・4<初山>	——	○	——	——	供(神棚に供え、屋根か門口に挿す)	花	31
		小	太子(ダイノコ)	〈アーボ〉		——	?	——	——	小豆粥を供え、ダイノコで「なるかならぬか」と言いながら打ち廻る	——	
	北松野	小	ハナ(大)	〈マメブチ(オパーモヤ)〉	1・5<初山>	ハナカキナタ・ハナヒキナタ(専用)	○	3本1組	——	供(母屋・長屋等の軒先に3本ずつ)	花	32
		小	ハナ(小)				○	——	——	供(神棚・神々・墓地・氏神等)	花	
		小	ダイノコ				○	2本1組	——	供(荒神様)→成木(子供達が柿木を叩く、かつては新嫁の家を尾門付け、嫁の尻を打ったという)→田植の頃水口に立てる	——	
	大北	小	ハナ	——	——	——	○	木に付ける※	——	供(〈檜(本来はミズキ)〉に団子とハナを付け土間に飾る、根元にもハナを添える／ウメに団子とハナを付け、墓地に供える)	花	32
富士宮市	猪之頭	小	アワボヒエボ	——	——	——	○	——	——	(写真のみ)／※3段に削る	——	21
	万野	小	飾り削りした棒	ホオノキ	——	——	?	——	——	成木(「代の子其の子なるかなんないか」と唱えながら柿木を叩く)	——	33
芝川町	(字不明)	小	花	ミツマタ・コウゾ・〈みずくさ〉	——	——	○	——	——	供(神棚・歳神様・墓地)	花	34
	上稲子	小	ハナギ	〈ハナギ〉※	1・11※	鉋	○	——	——	飾／※〈ハナギ〉の新芽を庭から採ってきて作る。ない家はミツマタを用いた	花	35
	上稲子(落合)	小	アワボウ・アボ	〈アワボウ・アボ〉	——	小刀	○	——	——	供(門松の跡)→味噌を作る時の焚物にする	——	35
	上稲子(池ノ谷)	小	アワボウ	ミツマタ	——	鉋	○	——	——	成木(アワボウで成木を叩き、小豆粥をかける)	——	35
	上稲子(北ヶ谷戸)	小	アワボウ	——	——	鉋	○	——	——	供(神棚・仏壇・物置・倉庫等)	——	35
小		ハナ	——	——	鉋	○	——	——	供(神仏)	花		
富士市	浮島	小	(花)	〈勝の木〉	——	——	○	——	——	供(神棚)	花	67
	一色	小	花幣束	〈桂の木〉	——	——	○	——	——	供(神棚)	——	36
		小	だいのこ幣束	〈桂の木〉	——	——	○	——	——	供(神棚)→成木(「だいのこしょうのこ」と唱えながら男児が果樹を叩く)	——	36
	田子	小	造花	——	——	——	○	——	——	成木(「大の子小の子ならすかならないか」と唱えながら果樹を打ち、小豆粥を付けた)／※昭和初期に廃絶	花	37
御殿場市	印野	小	アーボーヒーボー(総称)	ニワトコ・ヌルデ・〈カツノキ〉	1・4<初山>	——	○	竹に付ける	——	供(割竹にニワトコのハナ(ヒーボー)とヌルデの棒(アーボー)を挿し、歳棚の両端・大神・屋敷内の神々・川の神などに供える)→ニワトコは保管しておき、人畜の糞に	作物	38・39
	古沢	小	鬼打薪	ヌルデ・〈カツノキ〉	1・4<初山>	——	○※	2本1組	——	供(戸口の両側に供える)／※2本のうち1本には削りかけを施さない	——	40・41

表2-4 削りかけ資料：中部5

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】	
			ナソノ花	——	——	——	○	——	——	(詳細不明)	花	
			タワラ	——	——	——	○	——	——	(詳細不明)	—	40
	竈	小	門入道	ヌルデ 〈カツノキ〉	1・4〈初山〉	——	○	2本1組	目鼻刻み	戸口の両側に供える	人形	38・ 41
	沼田	小	アーボー ヒーボー(総称)	ニワトコ	1・4〈初山〉	——	○	竹に付ける	——	供(割竹にニワトコのハナ(ヒーボー)とヌルデの棒(アーボー)を挿し、歳棚の両端・大神・屋敷内の神々・川の神などに供える)→ニワトコは保管しておき、人畜の薬に	作物	41
	山の尻	小	ナソノ花	——	——	——	○	——	——	(詳細不明)	花	41
	板妻	小	アーボー ヒーボー	——	——	——	○	竹に付ける	——	供(神棚等)	花	41
	上小林	小	アーボー ヒーボー(総称)	〈コメゴメ〉	1・4〈初山〉	——	○	竹に付ける	——	供(割竹に〈コメゴメ〉の削花、ニワトコの棒(ヒーボー)、ヌルデの棒(アーボー)を挿し、歳棚・その他の屋敷神等に供える	作物	41・ 52
		小	(門口の 削りかけ)	ヌルデ 〈カツの木〉	1・4〈初山〉	——	○	2本1組	——	供(戸口の両側)→2月1日〈棚おろし〉に下ろす ※皮付のまま3〜4方を削る ※行なう家は少数	—	52
	神場	小	鬼打薪	——	1・4〈初山〉	——	○	2本1組	——	供(門口)	—	41
	中畑	小	アーボーヒー ボー	——	1・4〈初山〉	——	○	2本1組	——	(写真のみ)	—	41
大堰	小	魔除け	——	1・4〈初山〉	——	○	2本1組	——	(写真のみ)	—	41	
三島市	(字不明)	小	木花	〈かつの木〉・ 〈あかめの木〉	1・4〈初山〉	花こき斧	○	——	——	——	花	42
沼津市	(字不明)	小	ケズリバナ	〈カツノキ〉・ 〈アカメの木〉	——※	ハナヒキ鉈	○	団子木に 付ける※	——	飾(大:軒先や納屋に吊るす、小:ダンゴバナと共に飾る、神棚・井戸・墓などに供える)／※根方や大平地区から売りに来た／※〈アカメの木〉は秋の内に伐っておくと黄色くなりきれいなケズリバナができる為、大岡地区ではよく使われた	花	43
	井出	小	削り花	〈ツキダシの 木〉	〈初山〉	ハナヒキナタ	○	——	——	供(玄関の軒先・神棚等)	花	44
		小	ダイノコ	〈カツノ木〉	〈初山〉	——	○	2本1組	——	成木(成木を叩く)	—	
	旧原町	小	花	〈勝の木〉	——	——	○	——	——	供(神棚・軒先の注連飾りをつけた所)	花	45
	塩満	小	削り花	〈カツの木〉	——	——	○	団子木に 付ける	——	飾(中柱や臼に括りつけたダンゴの木に団子等と共に付ける)	花	46
	河内	小	けずり花	〈カツの木〉	1・7	——	○	団子木に 付ける	——	飾(中柱に括りつけたダンゴの木に団子等と共に付ける)	花	47
	岡宮	小	ケズリバナ	〈赤目〉	——	——	○	団子木に つける※	——	供(団子木につけたり吊るしたりして、軒・井戸・墓に供える)	花	48
	三津	小	ハナ	〈柳〉・ 〈マメヅシ〉・ 〈カツノキ〉	(購入も)※	(購入も)※	○	大小あり	——	供(大:門口、小:ダイコンの輪切りを台にして大神宮・年神・床間・エビス・荒神・仏・ウス神・フナダミ等)→17日に子供達が焼く〈ハナヤキ〉／※田方の百姓が〈カツノキ〉の削花を売りに来た	花	49
	小海	小	ハナ	〃	(購入も)※	(購入も)※	○	大小あり	——	供(大:門口、小:家の神々のほか、ダンゴの木につける)→16日に青年達が焼く〈ハナヤキ〉／※田方の百姓が〈カツノキ〉の削花を売りに来ていたが戦時中から来なくなった	花	49
	重寺	小	ハナ	〈柳〉・ 〈マメヅシ〉・	——	——	○	大小あり	——	供(大:門口、小:家の神に3本ずつ)	花	49
長浜	小	ハナ(大)	〈マメヅシ〉	1・4〈初山〉	——	○	大小あり	——	供(大:門口、小:家の神々)→15日か20日に各家で浜で焼く〈ハナヤキ〉)	花	49	

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】	
函南町	平井	小	ハナ	〈カツノキ〉	1・4<初山>	――	○	――	――	供(歳神)→子供達が集めて16日の<花焼き>で焼く	花	50
修繕寺町	熊坂	小	(門入道)	ヌルデ 〈カツノキ〉	――	鉋	○	2本1組	――	門口の左右に立てる	人形	51
		小	ハナ	(マメンブシ)	――	ハナケズリ (専用)	○	――	――	飾→「二十日の風にあてるもんでない」と言い燃やす	花	26
	日向	小	門入道	――	――	――	――	――	――	※詳細不明	人形	26
大仁町	長者ヶ原	小	削り花	――	――	花掻き鎌	○	団子木に 付ける	――	飾(団子木に付ける)	花	13・ 51
		小	カイカキ棒	――	――	――	――	――	――	――	――	
		小	門入道	ヌルデ 〈カツノキ〉	――	一・小刀	○	2本1組	目鼻を刻む	飾(門口に立てる)	人形	
	御門	小	削り花	〈カツの木〉	1・4<初山>	――	○	――	――	供(団子等を付けて神棚に飾る)	花	53
	神島	小	削花	ヌルデ 〈カツノキ〉	1・4<初山>	――	○	――	――	供(神仏・母屋や納屋の軒先)	花	54
中伊豆町	(字不明)	小	削りバナ	〈カツノキ〉・ ニワトコ	――	――	○	――	――	供(神棚)	花	55
	原保	小	削りバナ	〈カツノキ〉・ 〈マメンブシ〉	――	――	○	――	――	供(屋根に挿したり神棚に上げたりした)	花	56
	筏場	小	門入道	ヌルデ 〈カツノキ〉	暮れ	――	○	大1・小4	目鼻刻み	大:門口、小:歳神、大神、エビス、荒神に供える	人形	26
韭山町	(字不明)	小	ハナ	ヌルデ 〈カツノキ〉	――	ハナナタ (専用)	○	――	――	供(歳神等の神棚・母屋入口の軒先・物置・蔵の入口・便所・井戸等)→16日に下げ、17日までに<ドンドン焼き>の焼け跡に持参	花	57
	南条	小	削花	〈カツの木〉	1・4<初山>	なたがま	○	――	――	飾(〈花の木(マユダマ)〉と共に飾る)	花	58
	台	小	ハナ	ヌルデ 〈カツノキ〉	――	ハナナタ (専用)	○	――	――	供(歳神等の神棚・母屋入口の軒先・物置・蔵の入口・便所・井戸等)→16日に下げ各家で燃す	花	57
	山木	小	ハナ	コウゾ<カミカンゾウ>	――	ハナナタ (専用)	○	――	――	供(歳神等の神棚・母屋入口の軒先・物置・蔵の入口・便所・井戸等)→16日に下げ、17日までに<ドンドン焼き>の焼け跡に持参	花	57
天城湯ヶ島町	長野	小	ケズリカケ	ヌルデ 〈カツノキ〉	――	ハナカキナタ (専用)	○	――	――	供(軒先等)	――	10・ 13
		小	ハナ				○	団子木に つける	――	――	花	
		小	門入道				○	2本1組	目鼻を刻む	飾(門口に立てる)	人形	
	上船原	小	ハナ	〈マメンブシ〉	1・4(初山)	――	○	――	――	――	花	26・ 51
		小	門入道	ヌルデ 〈カツノキ〉	1・4(初山)	――	――	2本1組	――	門口、裏口、馬小屋、蔵などの入口に立てる	人形	
	下船原	小	ハナ	〈マメンブシ〉	1・4(初山)	――	○	――	――	――	花	51
		小	門入道	ヌルデ 〈カツノキ〉	1・4(初山)	――	――	2本1組	――	門口、裏口、馬小屋、蔵などの入口に立てる	人形	
	金山	小	門入道	――	――	――	――	――	――	――	人形	26
	出口	小	門入道	――	――	――	――	――	――	――	人形	26
吉奈	小	門入道	――	――	――	――	――	――	――	人形	26	

表2-4 削りかけ資料：中部7

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】	
	雲金	小	キバナ(大)	ニワトコ(マメ ンブシ)	1・4(初山)	ケズリナタ (専用)	○	――	――	軒に挿す→二十日正月まで飾る	花	26・ 61
		小	キバナ(小)		1・4(初山)	――	○	――	――	仏壇に供える→二十日正月まで飾る	花	
		小	キクの花		1・4(初山)	――	○	――	――	飾る→二十日正月まで飾る	――	
		小	門入道	ヌルデ 〈カツノキ〉	1・4(初山)	鉈	○	2本1組	目鼻刻み	母屋、蔵、長屋、厩などの入口の左右に立てる	人形	
熱海市	多賀	小	つくり花	――	――	小鉈・小刀 (専用)	○	――	――	供(神棚・門口)	花	59
	泉	小	オハナ	――	――	――	○	12本1組	――	供(12本を神棚に供える)	花	60
伊東市	(字不明)	小	ハナ	〈マメブシ〉	――	――	○	竹に付ける	――	供(お飾りをした所にあげる)	花	61
	吉田	小	花	〈マメブシ〉	――	――	○	――	――	供(屋根に挿す)	――	17
	富戸	小	ケズリバナ	〈マメンブシ〉 ※	1・14※	――	○	――	――	供(「片飾りはいけない」と言い正月飾りをした所全てに飾る)／※ドンドン焼きの帰りに木を伐る ※コナラの木で作ったとも伝える	花	62
土肥町	水口	小	ケズリ花(長)	〈ズイの木〉	――	ハナカキ・ ハナケズリ	○	――	――	供(玄間に吊る)／※〈花搔き〉という(以下同)	花	63
			ケズリ花(2段)				○	――	――	供(神棚・仏壇)	花	
			ケズリ花(3段)				○	――	――	供(荒神様)	花	
	新田	小	削り花	――	――	――	○	――	――	※〈花搔き〉という	花	63
	小下田	小	ズイ花	――	――	――	○	――	――	※〈花搔き〉という	花	63
松崎町	三浦	小	アーボヘーボ	キブシ 〈ズイノキ・ ズイッポー〉	――	――	○	――	――	供(各神棚)	花	64
	池代	小	粥カキ棒	――	――	――	○	――	――	15日の粥をまぜる→焼き米を添えて苗代田の水口に立てる	――	13
南伊豆町	子浦	小	削り花	――	――	――	○	竹?に付ける	――	供(軒に挿す)	花	10
下田市	加増野	小	ダイノコ	ヌルデ 〈カツノキ〉・ 〈ズイボウ〉	――	――	○	――	――	供(小豆粥をのせて歳神棚に)→成木(柿などを叩きながら「なるかなんねか」と唱えた)→苗代田の水口に立てる	――	65
	稲梓	小	ハナ(ヅクウチ)	〈柳〉・ 〈カツノキ〉	――	――	○	――	――	15日の小豆粥を混ぜる→供(大戸口の屋根に挿す)	――	66
		小	ハナ (ダイノコウ)		――	――	○	2本1組	――	成木(「なしろうか、なるまいか」と唱えながら〈ナリキゼメ〉をする)	――	
		大沢	小	ケズリカケ	〈柳〉	――	――	○	米俵にさす	――	飾(米俵3つを重ねた上に挿す)	――

愛知県

設楽町	大名倉	小	ダイコ	ヌルデ〈ホウ ダレの木〉	1・5 〈初山〉	—	○	2本1組	—	供(大小あり、大は門松の跡・餅花等、小は柿・梅等の果樹の枝にかける。大根の豊作を願って 恵比寿に供える家も。2本1組で紐で繋ぐか、割竹に挿す)	作物	1・2
	名倉平	小	ハナ				○	2本1組			花	
	段嶺地方	小	柿の花	ヌルデ 〈フシの木〉	1・4〈初山〉	—	○	—	—	(詳細不明)	—	2
旭町	坪崎	小	ゴンボ・ダイコ ン	ヌルデ〈ヌデノ キ・フシノキ〉	前日 〈ニンギ開き〉	—	?	—	—	供える	—	3

【地域】	【時期】	【名称】	【材の樹種】	【伐採時期】	【製作道具】	【削り】	【組合】	【その他特徴】	【用途】	【表象】	【文献】	
稲武町	夏焼	小	ダイコ	ヌルデ	〈ニューギ迎え〉	—	○	—	—	供(屋内)／※皮を半分削りにして大根に葉に似せて縛ったもの	大根	4
			ゴンボ	〈フシの木〉						○	—	
	押山	小	アワンボ ヒエンボ	ヌルデ	〈ニューギ迎え〉	—	？※	竹に付ける	—	供(恵比寿棚)／※「半ば皮を削」ったもの	—	4
			稲橋	小	(オニューギ)	ヌルデ※ 〈フシの木〉	〈ニューギ迎え〉	—	？	2本1組	—	2本を紐で結び、柿・梅・クリなどの枝に下げて豊作を願う／※主にヌルデだが薪の木(ナラやクスギ)・ホオノキ等も使われる
新城市	(字不明)	小	栗穂・稗穂 (けずり花)	くふしの木	—	—	○	竹に付ける	—	飾(座敷に据えた石臼の穴に挿して飾る)	—	5
		小	けいぜい	—	—	—	○	—	頭部十字	頭部に〈切餅団子〉を挟む。小豆粥を混ぜ、年棚・門口・蔵などに立てたくにゅう木に粥を付けてまわる	—	5

岐阜県

加子母村	(字不明)	12・7 2・7	毛槍(けやり)	ヒノキ	—	—	？	—	—	供(山道具のツクリモノ・小豆飯などと共に山の神に)	—	1
	小郷	山神	ケヤリ・ケズリカ ケ・ケズリバナ	ヒノキ	—	—	○	—	—	供(山の神)	男根	2
		12・7 2・7	カンザシ	ヒノキ	—	—	○	—	—	供(山道具のツクリモノと共に山の神の供える)	その他	3
白川町	上佐見	11・7 2・7	(削掛)	—	—	—	○※	—	—	供(山道具のツクリモノ等と共に山の神に供える)／※「削掛」に似た「一端の尖りたる小板に『ぎだぎだ』を付けた」もの	—	4
串原村	松本	小	大根	ヌルデ〈ヌデ〉	—	—	○	2本1組	—	供(詳細不明)	—	5
岐阜市	雛倉	山神	(男根)	—	—	—	○	—	—	—	男根	2
本巣町	木倉	山神	(男根)	—	—	—	○	—	—	—	男根	2
坂内村	広瀬	山神	(男根)	—	—	—	○	—	—	供(山の神)	男根	2
久瀬村	西津汲	山神	(男根)	—	—	—	○	—	—	—	男根	2
大野町	島部	2・9 山神	大ベノコ	松	—	—	○	—	—	宿からく大べのこを子供の首に下げ、神木にかけた	男根	6